

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2018年 5月 25日

申 22 号「2018 年度新幹線総合車両センター業務改善に関する」団交③

(10 項) 車体科の体制見直しに伴い、臨時修繕や不具合調査、各種工事に対応できる体制を整備すること。また、事務所社員の負担を軽減する対策を講じること。

(回答) 車体科において計画工事と臨時修繕を施工する体制を構築する。また、必要に応じて外注管理体制を見直していく考えである。

【主な議論】・臨修においてグループ会社から、技管に連絡が来て対応を求められることが多々発生している現状があり、特に若手技官は苦勞しているため、委託作業はグループ会社で判断するように指導を行うことを求め、現状を踏まえグループ会社に力量を付けられるように指導を行うことに向けて議論をしました。

(11 項) 過去の部外委託件名も含め、非効率となっている作業やグレーゾーンとなっている作業について、検証及び見直しを行うこと。また、部外委託業務については、手直しや不具合対応も含め、グループ会社の責任施工を基本とすること。

(回答) 今後もより効率的な検修体制とするため、グループ会社と一体となった車両メンテナンス体制の構築を推進していくこととなる。

【主な議論】・車体科での作業見直しに関して、支社としてのフォロー、バックアップを行うことを求め、業務改善トレースについて議論しました。
・定期的に機会を設定し、今後も改善を図れるよう指導を求め、グループ会社の現状もあるため、少しずつでも進めていく事に向けて議論しました。

(12 項) 雪害や物損事故等、所内全体として取組む異常時の修繕対応について、指揮命令系統や組織体制のフローを示すこと。また、部外委託業務については、異常時対応の場合についても、グループ会社やメーカーの協力を得ることを基本とすること。

(回答) 大規模修繕対応等については、今後もグループ会社や車両メーカー等を含めて取り組む考えである。また、修繕規模、難易度、緊急度などから施工箇所を判断して対応することになる。

【主な議論】・一定程度のフロー作成や基本的な考えについて議論しました。
・鉄工業務が外注になったため、技術継承・技能伝承のため、廃車を活用できるように求め、現場で発案することは可能なことを議論しました。

(13 項) 技能士資格については、実作業に直結する資格であり、会社も技術継承の手段として懲進していることから、技能手当(技能手当資格別点数)に加えること。

(回答) 現行どおりの取り扱いとなる。

…現行通りの取り扱いですが、継続して議論していきたいと思っております。

安全・労働条件・働きがいの担保・向上や、技術継承・技能伝承のため、
職場議論・活動や団体交渉議論をつくり出していきたい